

蓼科・神秘的な苔の森

木村佳司

蓼科・北八ヶ岳ロゲイニング 2014年9月14日 蓼科高原(長野県茅野市)



スタート前に元気に記念撮影。これから6時間の冒険が始まる。背後に見えるのは北横岳(左)と縞枯山(右)。この日の競技範囲。

7人リレーのトレイン外に飛び出せば、蓼科の神秘的な森が広がっている。

2014年9月15日(祝) 長野県蓼科高原
蓼科・北八ヶ岳ロゲイニング 2014

家族

- 1 ハムちゃん 1157点
(宮崎崇徳/宮崎愛海)
- 2 Team Heart Golds 1149点
(上田浩嗣/上田皓一朗)
- 3 トータス親子 1125点
(国沢五月/国沢琉)

混合

- 1 俺カエル 1256点
(高久匠/高橋美誉/小向和希/田口茂樹)
- 2 入間市 OLC 入間市在住組 1144点
(高野由紀/海老沢正)
- 3 チョコるべ 1111点
(田辺洋一/神石明子)

女子

- 1 トータス女子 949点
(宮川早穂/渡邊彩子)
- 2 Club 阿闍梨まゆさな 928点
(服部早苗/田村真由美)
- 3 チーム穂高 786点
(小海涼子/三崎雅子)

男子

- 1 TEAM 阿闍梨 1762点
(福西佑紀/柳下 大)
- 2 札幌農学校 1475点
(永松敦/池陽平)
- 3 ぬるくないか?いまの自分! 1417点
(藤村陸/有賀裕亮)

がっつり山岳ロゲイニング

日本各地でロゲイニングイベントが多く開催されるようになってきた。今では年間 40-50 大会ほどになっているだろうか。その殆どが市街地や里山を中心としたシティロゲイニングである。そんな時期において、この蓼科・北八ヶ岳ロゲイニングはホンモノの山岳ロゲイニングとして開催された。

標高 1800m の蓼科高原にある自然学校を会場とし、最高地点は標高 2403m の縞枯山、最低地点は標高 1200m の蓼科湖。トレイン最深部では携帯電話が圏外になってしまう。

トレイン内は岩ゴロゴロの登山道が多く、まさに登山である。湿原や木道も多数ある。

厳しい自然のなか、蓼科の森は神秘的な姿を見せる。鬱蒼とした亜高山帯の森の中は、岩や木の根でボコボコに波打っていて、それを柔らかい緑色の苔が覆っている。ほかではなかなか見られない風景の登山道を巡ってロゲイニングのコースは展開した。

高原ロゲイニング

いっぽう、蓼科は高原リゾートとしても知られている。蓼科・北八ヶ岳山系にはロープウェイが運行されており、この利用が認められている。これをうまく利用したコース取りを行ったり、

高原の滝や別荘地を巡るコースを選択したチームは、また違った蓼科の風景を見たようだ。

山岳・高原いづれにせよ、秋の気持ちよい天候の中で広大な範囲を巡ってきた参加者の表情は一樣に満足げに見えた。

オリエンティアとロゲイナー

この大会は、クラブ7人リレーの翌日に同じ会場で開催した。このため、ロゲイニング愛好家に加えて、オリエンティアも多く参加してくれた。特に学生オリエンティアが多く参加してくれたことが、今回の特徴だった。

いつもは違う会場で活躍している、ナビゲーションスポーツの愛好家の交流になったと思う。

(木村佳司)



北八ヶ岳に広がる苔の森